

全国各地でコーティングブースが設置されています！



(株)ENEOSウイング 北海道支店 Dr.Drive苫小牧SS



(株)小林本店 Dr.Drive山朝日



八戸燃料(株) 南郷家サービスステーション



エネクスフリースト(株) 関東支店 長岡SS



(株)三田商会 花巻東SS



(株)ENEOSフロンティア 北関東カンパニー Dr.Driveセルフ小山城北店



(株)ENEOSジェネレーションズ Dr.Drive成田ウイングSS



関東豊油(株) キーパープロショップセルフ浦川西店



ヤマヒロ(株) 立川通りSS



(株)泰正社 Dr.Driveカートピア田無SS



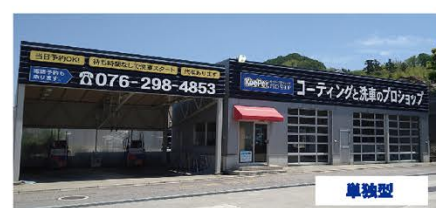
(株)ENEOSウイング 静岡支店 セルフ長泉なめりSS



(株)ENEOSウイング 中部支店 ルート23鈴鹿SS



第一商事(株) 磐田中央町SS



(株)金沢丸善 ワンダフルセルフ高尾



出光リテール販売(株) 関西カンパニー セルフ神戸北町SS



四国石油(株) カーケアステーションセルフ綾南



広川日石(株) Dr.Driveセルフ新浜SS



(株)西日本宇佐美 山陽支店 2号大野SS



日ノ丸産業(株) Dr.Drive倉吉店



大分石油(株) サンシャイン中津SS



(株)西日本宇佐美 九州支店 須恵中央SS

コーティングブース完成までの流れ

(株)ENEOSウイング 大曾根SSの場合

コーティングの高付加価値化によって、ダイヤモンドキーパー以上のコーティング需要が高まり、コーティングブースを新たに設置する店舗が多くなってきました。同時に「どのようにコーティングブースを建てれば良いかわからない」という問合せも多くなっています。実際に6月中旬にコーティングブースが完成する(株)ENEOSウイング 大曾根SSに取材に行き、山下マネジャーと、SS建築部の林さんにコーティングブースを建てるための流れを教えてくださいました。

- START** **STEP1 プースプランを作成する**
どこにどんな形でブースを作ることが良いのかを検討します。KeePer技研スタッフがプラン作成からお手伝いします。※図面をご用意ください。
- STEP2 プラン図をもとに事前調査を開始**
設計事務所を選定し、プランに応じた法的な課題を調べてもらいます。必要に応じてプラン図を修正します。
- 1ヶ月** **STEP3 コーティングブースプラン決定**
同時にコーティングブース看板プランも作成します。KeePer技研にお任せください。
- STEP4 設計事務所が建築確認申請に必要な図面を作成し、提出する**
- STEP5 図面を元に工事業者に見積りを依頼する**
工事業者2社以上での入札を推奨します。KeePerブースをご希望の場合は、KeePer技研に見積り依頼をお願いします。
- 2ヶ月** **STEP6 施工業者決定**
- STEP7 建築確認済証の交付**
- STEP8 コーティングブース工事開始**
基礎工事終了後は、工事開始から2日間であっという間にブースができあがります。
- STEP9 建築完了検査**
- STEP10 看板取付け**
- 4ヶ月** **STEP11 コーティングブース完成!**
※SS敷地内だと、予め消防署に聞く必要がありますが、SS敷地外での設置も基本は一緒です。

かかった建築コストは？

- KeePerブース1台分…264万円 ※オプションで奥行1m延長
- 設計・申請費用…70万円
- 電気・照明・エアコン設置…230万円
- 基礎・外構工事…260万円
- エアコン設置…50万円
- 断熱改修費…30万円 ※オプション
- 建築コスト…合計904万円(税抜)**
- ※オプションなしなら合計862万円(税抜)

2台分はさらにお得! KeePerブース標準仕様価格

- KeePerブース1台分…252万円(税抜)
- KeePerブース2台分…440万円(税抜)



EXキーパー
取扱施工店



EXキーパー
取扱店



のオペレーション事例

EXキーパーの受注と施工を請け負う店舗を「EXキーパー取扱施工店(センター店)」、EXキーパーの受注とメンテナンスを請け負う店舗を「EXキーパー取扱店(サテライト店)」と位置づける新しい制度を開発しました(詳しくは先月4月号1面をご覧ください)。現在、その制度を活用している(株)ENEOSフロンティア 南関東カンパニーの取組みを取材し、そのオペレーション事例を紹介します。

(株)ENEOSフロンティア 南関東カンパニーの場合



SUPER GT 2021 予選5位スタートから、連続3位表彰台獲得、気が付けばそこにKeePer!! 第2戦:5/3(月)・4(火) 富士スピードウェイ(静岡県)



開幕戦3位に入賞し、12ポイントを獲得した#37[KeePer TOM'S GR Supra]は、「サクセスウエイト(ウエイトハンデという表現を今年から変更)24kgを積んだのレースとなった。未だ入賞が許されないサッシャ・フェネストラ選手に

代わり、今回も阪口晴南選手がドライブすることになり予選に挑んだ。予選Q1を平川亮選手が担当、貫禄の4番手タイムを出し、Q2進出に成功。阪口選手にステアリングを託した。サクセスウエイトの影響と若干のミスにより5番手タイム、決勝レースは3列目からのスタートとなった。今大会はレース距離が通常より200km多い500kmのレースのため、ドライバー交代と給油作業が2回行われる。スタートドライバーは平川選手、中盤を阪口選手、後半ゴールまでを平川選手がドライブするストラテジーをとった。昨日より気温も路面温度も上がり、ライバルよりハード目のタイヤをチョイスしている#37にとっては追い風となるはず。レーススタート早々の第1コーナーで#23に追突されたが大きなダメージはなく、2周目には4位にポジションを上げ追撃開始!と思われた3周目に#23が白煙を吹きコースサイドにス

トップ、セーフティーカー導入となった。6周周回時にレース再開、追撃開始!と思われたがハード目のタイヤがなかなか発動せず苦戦を強いられ順位を一度5位に落としてしまう。しかしペースを上げ、22周目には再び順位を4位に戻す。30周目あたりから1回目のピットインに入るマシンが出はじめる、32周目にストレート上で#38のタイヤが取れるというアクシデントが発生。今大会から運用が始まったFCY(フルコースイエロー)が初めて採用された。このFCYの表示が出ると同時に追い越しが禁止になり、10秒以内に速度を80kmに落とさなくてはならず、それを守らないとペナルティの対象となる。このタイミングで偶然ピット作業をしていたチームがその後のレースを優位に展開できることになった。34周目にFCYが解除になりレース再開、#37は41周周回時にルーティーンのピットインを行い、ドライバーを阪口選手へと交代。ピットアウトする直前のFCYの時に丁度ピッ

ト作業していたチームに先行され6番手にてレースを再開することになる。ステアリングを託された阪口選手であったが同様にタイヤがうまく発動せず、またピックアップ(路面に落ちているタイヤカスがタイヤについてしまう状況)にも悩まされペースを上げられず6番手を維持するのが精いっぱいとなる。周回数80周目に2回目のピット作業を行い、再び平川選手へと交代、最終チェッカーフラッグを目指す。タイヤをソフト方向のタイヤに交換し、前との差を徐々に詰めてきたが97周周回時にコースサイドにストップしたマシンを回収するため、再びFCY導入。タイヤに熱が入りペースが上がってきたところに水を差されることになってしまった。99周周回時にFCYが解除されレース再開されるとトップを走行中の2台が相次いで脱落、ポジションを4位にあげると、残り周回数3周で前を行くNSXをオーバーテイクし3位

へ順位をアップ、さらにトップを狙い続け続けた平川選手であったが0.3秒弱がなかった。2戦連続3位表彰台獲得し500kmのレースを終えた。



●第2戦の結果

順位	No.	マシン	ドライバー
1	17	Astemo NSX-GT Honda NSX-GT	藤越 広大/ベルトラノ/バグット
2	14	ENEOS X PRIME GR Supra TOYOTA GR Supra GT500	大輪 和也/山下 健太
3	37	KeePer TOM'S GR Supra GR SUPRA GT500	平川 亮/阪口晴南
4	1	STANLEY NSX-GT Honda NSX-GT	山本 尚貴/武藤 英紀/坂野 任祐
5	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500	平手 晃昇/千代 勝正
6	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra TOYOTA GR Supra GT500	ヘイキ/コバライネン/中山 雄一